

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局
 〒640-8314
 和歌山市神前 405-3
 TEL 073-473-2301
 FAX 073-473-2302
 発行責任者
中澤敏浩

和歌山県水平社創立90周年

先達の思いを受け継ぎ

第58回 県連大会

5月17日、和歌山県勤労福祉会館・プラザホールで、和歌山県水平社創立90周年を記念した第58回和歌山県連定期大会をひらき、代議員278人が参加した。

今大会は、90年前に先人たちが厳しい差別と過酷な生活のなかから人間性の復権、人間の尊厳を求めて立ち上がり、徳川家を祝う「和歌祭」の日に抗議と憤りと糾弾という意味を込めて和歌山県水平社創立大会をひらいた記念すべき大会でもある。

多くの先人たちに黙祷をささげ、大会がはじまった。解放歌合唱を松井資喜・青年部長、水平社宣言朗読を松根洋子・女性部長がおこなった。

つづいて、功労者6人(中澤敏浩、瀧口秀光、清水節子、辻本意典、田上武、寺西優)、物故者6人(松井正彦、中谷英雄、清原美寿子、保田

耕志、前田玉枝、村田恭雄)の表彰式をおこなった。功労者を代表して田上武・県実行委員会会長が「志し半ばで先立たれた先人たちに心から哀悼の意を表するとともに、今日まで私たちを支えてきてくれたことについてお礼を申し上げ、この賞を喜んで受け取らせていただく。憲法96条の改悪が叫ばれている今日、再び悲惨な戦争をさせないためにも、これからもがんばっていきましょう」と受賞のあいさつと決意表明がなされた。

大会の議長団は、飯田勝代議員(古和田)と上山正弘代議員(湯浅)が任命され、議事がすすめられた。

はじめに、県連を代表して松本貞次・執行委員長は「この大会は、われわれの先輩たちが和歌山県水平社を結成して90年。また、狭山事件の闘いも50年を迎える。「人権侵害救済法」は厳しい状況にある。まさに闘いの正念場だ。よき日に向けまい進しよう」とあいさつした。つづいて、組坂繁之・中央執行委員長は安倍政権で「人権委員会設置法案」が反対され、橋下徹・



連帯のあいさつをする組坂繁之・中央執行委員長

大阪市長の女性軽視発言も許すことができない。1日も早い「人権委員会設置法案」の成立をめざしてとりくみをすすめていく。さまざまな差別事件が増加しているなか、断固として闘う部落解放同盟である。組織



初音・心音の太鼓演奏

和歌山県水平社創立90周年を記念したレセプションを5月17日、ダイワロイネットホテルで県内各支部と来賓合わせて250人の参加でひらいた。オープニングセレモニーでは、湯浅の子ども会活動から発足した和太鼓集団「初音・心音」による迫力のある太鼓が演奏された。

松本・副委員長は「90年の歴史と伝統を受け継ぎ「よき日」の実現にむけて多くの方々がたどってきた。闘う」とあいさつした。つづいて、組坂・中央執行委員長、二階俊博・衆議院議員、仁坂吉伸・知事、山下直也・県議会議長、大橋・和歌山市長と来賓からあいさつがあった。

和歌山県水平社創立90周年を記念したレセプションを5月17日、ダイワロイネットホテルで県内各支部と来賓合わせて250人の参加でひらいた。オープニングセレモニーでは、湯浅の子ども会活動から発足した和太鼓集団「初音・心音」による迫力のある太鼓が演奏された。

和歌山県水平社創立90周年を記念して、解放運動にまい進された功労者・物故者を表彰した。表彰者のプロフィールが紹介され、あらためて先輩方の功績をたたえ会場からは大きな拍手がおきた。

先日、26歳で去った「尾崎豊」の一番が放送され、思わず見てしまい(笑)もう21年もたつていたことに驚いた。「自由」という言葉に「支配」と連想した多感な15歳の少年が、大人たちに翻弄され、自身も大人になりメジャーになっていくことの原因が今だに取りざたされている▼さて、5月17日に、私たちは「和歌山県水平社創立90周年」を迎えた。多くの若者たちが水平社を創立し、部落解放運動の困難な時期に、県連を再建してきたのである。このことは私たちの運動に限らず、いつの時代でも若者たちは多感であり、その若者が時代を創造してきた▼今、歴史認識や領土問題、「靖国」への国会議員の集団参拜、橋下発言、憲法改正論議など偏狭な民族主義が台頭してきている。バラ色の「アベノミクス」も、小さな商店や零細企業が静かに消え、「肝心」の株価が乱高下、「円高」と早くも陰りを見せている。大げさではなく、混乱の時である▼スマホやAKBに興じる多くの若者に「大人たち」は怒り呆れる。でも、昔も今も若者はそう変わらな

頑健

本田圭佑が「子どもの頃の夢」について語っているが、若者の「夢」と「感性」を信じ、支える大人たちがいる限り、混迷を打ち破り創造はじまると思う。(S・I)